

## 健康社会研究センター ニューズレター 第 3 4 号

2014. 2. 28 発行

### ◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 受賞のお知らせ
- 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

### 1 プレスリリース

#### ・サロン参加で健康に良い情報が増えた人が 8 割 (2013 年 10 月)

介護予防事業のなかでもポピュレーション戦略(一次予防)が注目されている。本研究は、一次予防としての「憩いのサロン事業」(以下、サロン)への参加が介護予防につながる一つの理由が「健康に関する情報の入手が容易になるからではないか?」という仮説を検証するために、サロン参加者(ボランティア・一般参加者)の情報源と情動的サポートの授受の変化を調査した。その結果、より高齢で情報源の数が少ない一般参加者にとって、食・運動に関する情報源としてサロンは 56~58%とテレビ・ラジオに次いで 2 番目に多く、約 8 割がサロン参加で情動的サポートの受領が増えたと回答した。

詳細はこちら→ <http://cws.umin.jp/press-releases/045.pdf>

### 2 主な研究成果発表

#### <論文等>

- ① 近藤克則：超高齢社会における地域包括ケアシステムとリハビリテーション科医の役割—臨床から地域・エビデンスづくりまで—。The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 51 (2) : 120-124, 2014. 2
- ② 鄭丞媛, 近藤克則：地域包括ケアシステム構築の背景と展望。Journal of Clinical Rehabilitation 23 (1) : 12-17, 2014
- ③ 近藤克則, 杉澤秀博：(対談) 健康と社会。家計経済研究 101 : 2-12, 2014. 1
- ④ 松本大輔, 近藤克則, 白石成明, 杉山統哉, 鄭丞媛：脳卒中患者における早期リハビリテーション実施状況とリハビリテーション提供体制との関連性—入院曜日を考慮した分析での検討—。理学療法学 41 (1) : 21-27, 2014. 2
- ⑤ 伊藤美智予, 伊藤大介, 鈴木亮子：認知症ケアマネジメントにおける医療と介護の連携の現状と課題—医師からみたケアマネジャーとの連携への評価。日本認知症ケア学会誌 12 (4) : 753-762, 2014. 1
- ⑥ 伊藤美智予, 鈴木亮子, 伊藤大介：認知症の人が活用しているインフォーマルサポートの種類と機能—認知症ケアマネジメントへの示唆。日本認知症ケア学会誌 12 (4) : 731-741, 2014. 1

#### <学会等 (JAGES 関係) >

- ① 尾島俊之：要介護期間を規定する要因：JAGES コホート。第 24 回日本疫学会学術総会, 2014. 1. 23~25, 仙台
- ② 伊藤奏, 相田潤, Noriko Cable, 山本龍生, 鈴木佳代, 小坂健, 近藤克則：口腔の健康格差の日英比較。第 24 回日本疫学会学術総会, 2014. 1. 23~25, 仙台
- ③ 小山史穂子, 相田潤, 近藤克則, 山本龍生, 大塚理加, 中出美代, 岡田栄作, 鈴木佳代, 引地博之, 小坂健：歯の少ない高齢者は 3 年後の閉じこもりが多い AGES プロジェクトコホート研究。第 24 回日本疫学会学術総会, 2014. 1. 23~25, 仙台

#### <その他お知らせ>

- ① 近藤克則編：健康の社会的決定要因－疾患・状態別「健康格差」レビュー。日本公衆衛生協会，2013 が増刷になりました。
- ② 近藤克則：健康格差社会を生き抜く。朝日新書，2010 が増刷になりました。
- ③ 中京テレビ「ゴリ夢中」で武豊憩いのサロン小迎会場が紹介されました。2014. 2. 8（土）11:45～12:00

#### <講演等>

- ① 近藤克則：公衆衛生におけるソーシャルキャピタル醸成支援と地域診断に基づく保健活動。平成 25 年度地域保健活動関係職員研修，2014. 1. 24，仙台
- ② 近藤克則：ささえあい たすけあい まじりあいのまちづくりの先に見えるもの。南生協よってって横丁着工まつり記念講演，2014. 2. 15，名古屋
- ③ 伊藤美智予：2012-13 年度「認知症者の生活支援実態調査」主な分析結果（速報）。認知症ケアマネジメント研修会，日本医療生活協同組合連合会，2014. 2. 21（大阪）
- ④ 近藤克則：健康格差のないまちを目指して～元気に長生きの秘訣は地域のきずな力～。平成 25 年度第 3 回介護予防講演会，東京都北区主催，2014. 2. 25，東京

#### 3 受賞のお知らせ

- ・第 24 回日本疫学会学術総会でポスター賞を受賞しました。  
伊藤奏，相田潤，Noriko Cable，山本龍生，鈴木佳代，小坂健，近藤克則：口腔の健康格差の日英比較。

#### 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- ・JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。  
・3 月 9 日（日）日本福祉大学名古屋キャンパス

---

ニューズレター第 3 4 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<[k-michi@n-fukushi.ac.jp](mailto:k-michi@n-fukushi.ac.jp)>  
(伊藤) >までお知らせください(ご連絡の際は\*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」(2009 年 3 月 14 日開催) 及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011 年 12 月 23 日開催)，国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012 年 1 月 8 日開催) にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています。